

学習指導要領

整理③(全10回)

基礎知識編

- ① 全体構造(中学校・高校)
- ② 内容(中学校)
- ③ 内容(高校)
- ④ 学習過程のイメージ

頻出箇所編

- ⑤ 中学校・高校の全体目標
- ⑥ 中学校学年別目標(思)
- ⑦ 中学校学年別目標(学)
- ⑧ 中学校「内容」の頻出表現
- ⑨ 数学的活動
- ⑩ 「取扱い」の表現

③ 内容(高校)

数学Ⅰ(3)	数学Ⅱ(4)	数学Ⅲ(3)	数学A(2)	数学B(2)	数学C(2)
数と式 <small>有限小数循環小数(-数A)</small>	いろいろな式	極限	図形の性質	数列	ベクトル(-数B)
図形と計量	図形と方程式	微分法	場合の数と確率 <small>期待値</small>	統計的な推測 <small>仮説検定</small>	平面上の曲線と複素数平面 <small>(-数C)</small>
二次関数	指数関数・対数関数	積分法	数学と人間の活動	<small>[用語 記号] 信頼区間, 有意水準</small> 数学と社会生活	数学的な表現の工夫
データの分析 <small>仮説検定の考え</small> <small>[用語 記号] 外れ値</small>	三角関数				
<small>[課題学習]</small>	微分・積分の考え <small>[課題学習]</small>	<small>[課題学習]</small>			

※()内の数字は標準単位数
履修順序の指定
 ・Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ
 ・AはⅠと並行orⅠの後
 ・B,CはⅠの後

旧課程では数学Ⅰ,Aにあった
 旧課程「数学活用」の内容を散りばめた
(内容の取扱いに「数学的活動を一層重視(する)」と記述あり)

確認問題③-1

高等学校学習指導要領数学 第2款各科目 で述べられている第3、4、6の科目とそれぞれの内容

第3 数学Ⅲ (1)①) (2)微分法 (3)積分法 <small>[課題学習]</small>
第4 数学A (1)図形の性質 (2)場合の数と確率 (3)②)
第6 数学C (1)③) (2)平面上の曲線と複素数平面 (3)数学的な表現の工夫

[選択肢] 整数の性質、統計的な推測、データの分析、ベクトル、数学と人間の活動、数学と社会生活、極限

確認問題③-1

高等学校学習指導要領数学 第2款各科目 で述べられている第3、4、6の科目とそれぞれの内容

第3 数学Ⅲ (1)① <u>極限</u>) (2)微分法 (3)積分法 <small>[課題学習]</small>
第4 数学A (1)図形の性質 (2)場合の数と確率 (3)② <u>数学と人間の活動</u>)
第6 数学C (1)③ <u>ベクトル</u>) (2)平面上の曲線と複素数平面 (3)数学的な表現の工夫

[選択肢] 整数の性質、統計的な推測、データの分析、ベクトル、数学と人間の活動、数学と社会生活、極限

確認問題③-2

高等学校学習指導要領数学の平成30年の改訂における内容や変更点について次の文は正しいか。

- (1)「数学Ⅰ」のデータの分析では仮説検定の考え、「数学B」の統計的な推測では仮説検定を扱うこととした。
- (2)「数学A」、「数学B」、「数学C」はこの順に履修することが原則とされている。
- (3)「数学活用」を廃止して、「数学活用」の内容を、各科目の性格を踏まえ、「数学Ⅰ」、「数学A」に移行することとした。

確認問題③-2

高等学校学習指導要領数学の平成30年の改訂における内容や変更点について次の文は正しいか。

- (1)「数学Ⅰ」のデータの分析では仮説検定の考え、「数学B」の統計的な推測では仮説検定を扱うこととした。 **正しい**
- (2)「数学A」、「数学B」、「数学C」はこの順に履修することが原則とされている。 **A,B,Cは特に順序指定なし**
- (3)「数学活用」を廃止して、「数学活用」の内容を、各科目の性格を踏まえ、「数学Ⅰ」、「数学A」に移行することとした。
× 「数学A」、「数学B」、「数学C」